



よしだ 議会だより

第 56 号

吉田町議会
〒421-0395
静岡県榛原郡吉田町住吉87
TEL:0548-33-2141
平成22年2月発行
責任者 議長 増田宏胤



祝
成
人



12月定例会提出議案
臨時議会
まちの考えをきく
委員会活動報告・視察報告
議会報告会
まちの話題・あとがき

..... P 2~P 3
補正予算 他 P 4~P 5
4議員が町政を問う .. P 6~P 10
..... P 11~P 13
..... P 14~P 15
..... P 16

榛原総合病院

2億4800万円追加

また

資金不足

平成21年
12月定例会
 12月4日~12月18日

▼吉田町一般会計補正

予算(第2号)

2億6778万9千円を追加補正し歳入・歳出、それぞれ92億3670万7千円とする。

全員賛成

榛原総合病院へ
財政支援費の追加

問 議会報告会では、榛原総合病院問題は心配以上に困っている声が多かった。町長は経過説明と今後の動行を住民に説明する考えは。

答 榛原病院は、吉田町にとってまさに命そのもの、二次救急の「とりで」です。

上程された議案は、補正予算3件、規約の変更1件、町道路線の変更などを審議し、すべての議案を原案どおり全員賛成しました。
 なお『スバリ!町の考えを聞く、一般質問』は4人の議員が当面する諸問題を政策議論した。

この機能は確実に保持していただきたい、これが町長の願いです。

問 二次救急のとりで以上に、榛南地区の中核医療を担ってきた。この病院はつぶせないとする言葉の発信を。

答 負担金の枠組み設定で定数管理にするため、定数条例の上程や町の責任者として、提案や情報統制・路線変更・方針変更でも厳しく進言しています。

問 町長は、吉田町民に病院の運営委員としてバックアップ体勢や町民への広報の必要は。

答 今後指定管理の移行部分が文書になるまで、財政が許す限りぎりぎりのところまで協力バックアップします。指定管理者が実現した時点で町民の皆さんに報告と、榛原病院の存続に向けて、育て守ることを住民と考えたい。

問 二次救急を守る地域医療の拠点とするが、財政部問から貴重な税金の有効利用は町民に発信すべきでは。

答 前提として地域医療を守ることで、税金投入には、定数問題は財政的にリストラ策を図る強力な財政サイドの呼びかけや、政治的見地からも働きかけをしてきたことは事実です。

問 今、地域医療の二次医療を守る指定管理者移行に向けているが、地域の二次救急を守るのは榛原病院だけなのか、それ以外のか確認します。

答 議員には話したと思うが、榛原病院の存続に関して指定管理者以外には選択肢はありません。



審議した主な補正予算の内容

- ・感染予防費 予防接種委託料
 新型インフルエンザワクチン接種費
 2480万円
- ・老人保健事業費後期高齢者医療事業事務費
 1247万円
- ・榛原病院負担金 財政支援費
 2億4831万円

▼吉田町国民健康保険
事業特別会計補正予算(第2号)
2341万9千円を追加し歳入・歳出、それぞれ23億2513万8千円とする。

全員賛成

〈主な質疑〉

問 基金が大幅に減額した。今年度税率を下げたが来年度以降の見通しは。

答 今回税率改正に伴い医療費の大幅な伸びの動向を見きわめたい。医療費の発生状態を考慮し、直ちに税率改正は現時点は考えない。

問 2300万円の高額医療費の増額補正ですが、前年度と比べて医療費の動向はどんな推移となるか。

答 21年3月～8月までの高額医療費の月平均は、

・被保険者数 200人増
・件数 22人増
・1件当たり 822円増
これらが全体的に伸びている状況にある。

問 医療費の抑制で保健事業としてどんな施策を講じているか、その推移と状況を知りたい。

答 20年度から特定健診を開始して30%も増加し、全体で36・1%となった。今年度の目標は40%です。それに向って最終まで今頑張っている状況であります。

国保税の見直し、21年～24年、加入者今後の動向は。

問 予算計画案はどのように見直しで現状ではどうか。

答 医療費の伸びの当初計画は15%でしたが、今回10%を超える伸びで基金のほうに変動するかもしれま

せん。医療費の伸びは不測の動きがあり見直し中です。

問 加入者の動向はどのような試算点なのか。

答 20年度一年間の平均は7千11人でした。20年3月～10月までは7千313人に、202人が増えたこととなります。

問 今後の動向はどのようになりますか。

答 医療費の動きにより変動するのですが、何とも言えないが、現在の基金残高で賄える状況で対応する。当初の目標値は医療給付費等の25%は変わらない。ただ基金があるのに税率改正はないと思う。今後医療費の動向を見きわめながら考えたい。

▼吉田町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
208万8千円を追加し歳入・歳出それぞれ10億886万3千円とする。主に浄化センター維持管理費・施設・設備修繕料となる。

全員賛成

静岡地方税滞納整理機構規約の変更

静岡地方税滞納整理機構規約(平成20年総行市第1号)の一部を主に次のように変更する。
・第4条中第2号を削り、第3号を2号とし、同条に次の2号を加える。
・構成団体の職員に対する税務研修事務
・軽自動車及び自動車取得税に係る申告書又は報告書の受付、審査保管及びこれらに関連する事務。
・第5条第1号中「地方税の滞納整理事務」を「前条各号に掲げる事務」に改める。

全員賛成

▼町道の路線廃止
・愛宕前2号線(片岡) 延長66・7m
・三軒屋6号線(片岡) 延長40m
・谷川東9号線(神戸) 延長33・9m

全員賛成

▼町道の路線認定

・大坪7号線(川尻) 延長85・4m
・西の宮三軒屋線 延長349・2m
・愛宕前2号線(片岡) 延長177・8m
・中川原1号線(片岡) 延長153・6m
・谷川東9号線(神戸) 延長138・6m

全員賛成

議員発議案

○保険でよい歯科医療の実現を求める意見書について(第8号)

○発議案提出者 八木 栄議員

○賛成者 議員全員



西の宮三軒屋線



大坪7号線



谷川東9号線

第4回 臨時会報告

11月25日臨時会が招集された。上程議案は、条例の一部改正3件、契約の締結1件、合計4件でした。

町職員および特別職の期末手当を減額

人事院の春の臨時勧告を踏まえ、公務員と民間の給与比較を行った。月例給、特別給とも公務員が民間を上回った。この公民格差を解消するため、給与の引き下げとともに、自宅に係る住宅手当の廃止また期末・勤勉手当を減額する条例の一部改正など審議しました。

期末・勤勉手当を0・35ヶ月分減額

問 21年1月1日現在の引き下げでどの位と比較してどの位の引き下げですか。

答 一般職の給料は、約117万4900円
賞与は、6月で1236万1千円
12月で967万1千円

一般職全部
2320万6千円の引き下げとなります。

議員の
期末手当を減額

町議会議員の期末手当支給も人事院勧告に基づき、0・25ヶ月分減額する条例改正が行われた。

町長・副町長・
教育長の期末手当
減額

特別職の職員で常勤者の期末手当も人事院勧告に基づき、0・25ヶ月分減額する条例改正が行われた。

減額の総額は

一般職の総額は、2千320万6千円、特別職の総額は、56万8千円。議会議員の総額は、100万3千376円の引き下げを見込んでいます。

全員賛成

平成21・22年度 吉田町 ちいさな理科館新築工事請負契約の締結

コンセプト

自然に触れるとともに、実験、観察、工作などを通して子供達に薄れかけている自然科学に対する興味や関心を喚起するほか、学校でも子供たちに夢と刺激を与え、一人一人に科学への扉を開かせる場としたい。

問 環境問題を促せて考えているがなぜ太陽光・ソーラー設備がないのか。

答 建設委員・運営委員は議論した、現経済状況を考慮し外した。

問 21年度予算が3千400万円、今回8400万円は22年度へ掛けてですが建設費以外備品等はどうか、理科館の窓口体制はどうか。

答 来年度予算で施設・事務備品は数百万円位で検討中、窓口担当は、一応、教育委員会事務局で一人が運営に当たります。

問 今後グラウンドゴルフ場での利用は。また、緑のデザイン賞との関連はどうか。

答 理科館完成後の空間は、その後検討したい。

問 厳しい現経済環境下で、入札辞退の町内企業が多い。設定価格及び応札決定は。

答 小規模の鉄筋コンクリート造りの公共事業で町内業者も参加できる中部地域のエリアに絞り実績ある業者に緩和した。

問 今回上程した財政的裏付けは。

答 22年度の税収等21年度に比べ約5億円程度の減収で枠配分方式は中止、細部の事業費の計上必要事業等々を収拾選択する方法を進める。

全員賛成

- 1階 学習室各実験室
- 2階 倉庫、落下実験場
- 284・83㎡
- 2階建・延床面積は
- 鉄筋コンクリート造
- 〈概要〉
- 一般競争入札
- 8400万円
- 日成建設(株)
- 平成22年6月30日

問 運営経費・人件費等維持費の算定は、職員体制はどう考えるか。

答 需用費とか役務費等々で5〜6百万円位見込む、職員は非常勤でスタート。研修ボランティアも加える。

榛原総合病院 **1億500万円追加**

また **資金不足** また

負担金の総額 13億469万8000円となる

第1回 **臨時会報告**

平成22年1月14日臨時会が招集された。上程議案は、一般会計補正予算(第3号)1件でした。

主な予算の内容

・総務費	一般職員人件費の追加	913万4千円
・民生費	社会福祉総務費等職員人件費 子育て家庭や妊婦消耗品など 5保育園に新型インフルエンザ 予防対策	388万3千円
・榛原病院負担金	空気清浄機設置など 指定管理者移行遅延による	1億542万8千円

1億2481万1千円を追加し、歳入・歳出、それぞれ93億6151万8千円とする。

問 時間外手当の増額は、職員に負担増か。
答 各事業執行に配慮し、一人突出等はありません。

問 榛原病院の指定管理者との基本協定締結スケジュールの把握は。
答 基本協定で個別協議事項は、管理市と病院側で個別条件を検討中。今後吉田町も参画。一月中の締結を目指します。

問 島田市民病院にも影響あり、吉田町民への負担や影響は。
答 現在全力で榛原病院の救急体制を立て直すよう取り組んでいるので現状の救急車搬送を理解してください。

問 来年度榛原病院への財政負担は。
答 財政負担額の試算は、基準内の繰出しやプラスアルファの退職手当債の償還額等の支出で見積っています。

全員賛成

審議した議案と各議員の賛否 (平成21年第4回臨時会 11月25日) ○は賛成 ×は反対
―は議長のため同数の時のみ採決

議案番号	議案名	佐藤正司	枝村和秋	市川陽三	杉村嘉久	藤田和寿	片山武	永田智章	八木宣和	大塚邦子	吉永満榮	勝山徳子	河原崎昇司	八木栄	増田宏胤	審議結果
73	吉田町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
74	特別職の職員で常勤のもの給料等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
75	吉田町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
76	平成21・22年度吉田町ちいさな理科館新築工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

審議した議案と各議員の賛否 (平成21年12月定例会)

77	平成21年度吉田町一般会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
78	平成21年度吉田町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
79	平成21年度吉田町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
80	静岡地方税滞納整理機構規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
81	町道の路線廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
82	町道の路線認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案8号	保険でよい歯科医療の実現を求める意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

審議した議案と各議員の賛否 (平成22年第1回臨時会 1月14日)

1	平成21年度吉田町一般会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
---	----------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---



町の考えを聞く

4人が一般質問

1. 佐藤正司議員

「中学校の教科書選定は」

2. 藤田和寿議員

「町の危機管理は」

3. 八木 栄議員

「新しくなったさゆり保育園は」

4. 大塚邦子議員

「わが町の農業ビジョンと政策は」

「観光資源の発掘と活用は」

「一般質問」とは、議題に関係なく行財政全般にわたる議員主導による政策の議論です。



自由社と扶桑社の教科書

中学校の教科書選定は

問 11月3日付の日経新聞によると、

牧之原市長は「2年後の市立中学校の教科書採択では『新しい歴史教科書をつくる会』の教科書の採択を目指したい」と発言しています。

もし採択されれば、吉田町の子ども達もこの教科書で学ぶこととなります。

この「つくる会」の教科書は日本の歴史を天皇中心に描き、日本の植民地支配や侵略戦争を正当化・美化し、日本の戦争の加害をほとんど書かないなど問題が指摘されています。全国的にも批判の多い教科書です。教科書選定はどこで

ているのか。町民の声を反映する場はあるのか。

榛原地区の総意

答 教科書の採択の権限は市町教育委員会にあります。教科書選定は榛原地区教科用図書採択連絡協議会を設置し、その下部組織として、教科書研究

委員会をつくり公正かつ適正に研究しております。採択は一部の思想や勢力によって左右されるものではなく、多くの検定教科書の中から、榛原地区の総意に基づき、客観的に最も適当であると判断される教科書が採択される体制になっている。

問 次回の選定に向けてのスケジュールは、どのようになっているか。

平成24年度

答 今後のスケジュールは中学校では平成23年8月31日までに採択し、平成24年度から新教科書を使用することになっている。

静岡県教科用図書採択地区

H21.1.1～

賀茂地区
田形地区
駿東沼津地区
富士地区
静岡地区
志太地区
榛原地区 牧之原市・吉田町・川根本町
小笠地区
磐田周智地区
浜松地区
湖西・新居地区



佐藤正司議員



榛原総合病院救急窓口



被災した吉田浄化センター

町の危機管理は

問 町民の安全安心を考え、危機管理の最高の責務を担う町長の考えは。

答 災害対応の危機管理の要件は、
① 迅速な意思決定と対応
『すぐやること』
② 疑惑を生まない徹底した情報開示。
『かくかくしかじか』
『今後の再発防止策』
『申し訳ありません』
③ 社会的な視点に立った判断。
『住民の立場を第一義』

問 現状認識は。

答 DNAに刷り込む

問 不測の事態が発生した場合、全職階を跳び越してトップに指示を仰ぐよう徹底。

問 今後の施策方針は。

答 管理職を重点教育

問 行政への信頼を担保できるように、状況判断に基づいて判断力と決断力を要求。

防災は

問 地震の検証は。

答 家庭内の危険が鮮明

問 ブロック塀の転倒、屋根瓦の落下等の危険、家具固定や落下物対策の不備や、慌てて行動をした怪我等が明らかに。

問 経験から何を。

答 体制強化が課題

問 災害時要援護者に対する支援体制を強化と。自主防災組織との情報連絡体制の脆弱性への対策を講じる。

地域医療は

問 町としての考え。

医療体制を整える

問 医療機関と連携を深め、町民の皆様が受診を必要とする時に受診できる医療体制を整える必要がある。

問 町の対応策は。

情報と連携を図る

問 相談窓口や電話相談と情報を発信。「コンビニ受診」といった自己都合による



藤田和寿議員

不適切な受診から適切な受診へ促す。

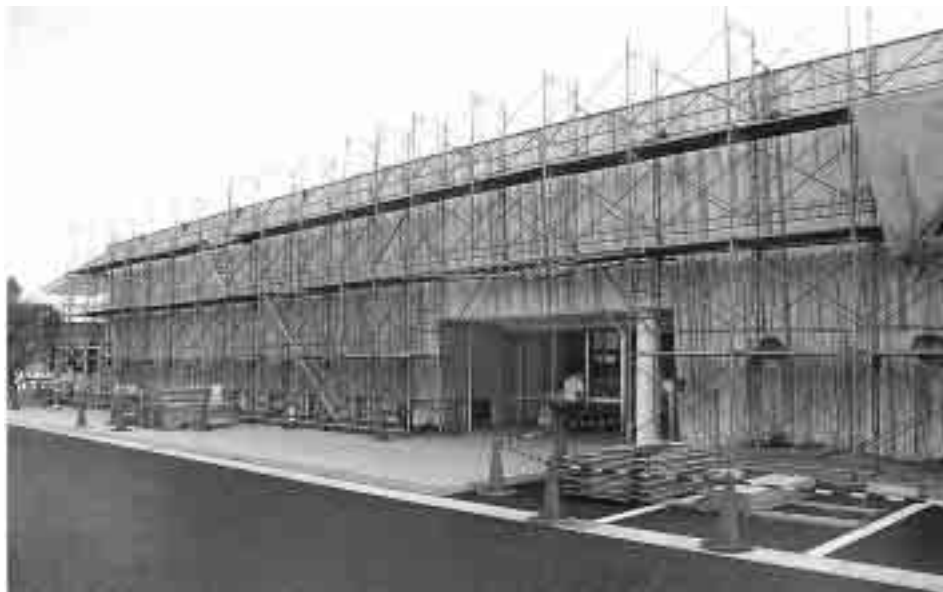
地域医療の現状と保健事業などについて、町内各医療機関と関係課と意見交換を行い、連携を深める。

問 救急時対応策は。

答 健康づくり課職員による休日・夜間を含めた24時間体制で、電話相談を継続します。

問 体制の周知は。

答 「広報よしだ」など町の広報やホームページにおいて、継続して休日当番医などの地域医療について、町民の皆様様に周知していきます。



改修工事中のさゆり保育園

新しくなったさゆり保育園は



八木 栄議員

問 新しくなったさゆり保育園について白化現象をおこした外壁杉板貼と同じ仕上・仕様の建物の前例はあるのか。

前例は集合住宅

答 東京都目黒区に集合住宅があります。同じ材料で仕上げますが、黒く塗装された点が異なっており、別な塗料を使用しております。この建物に白化現象はありませんでした。設計監理業務を委託した建築士が現地確認をしています。

問 工事の管理状況に問題はなかったか。

全ての検査に合格

答 定例工程会議を22回開催したほか、必要に応じて関係者に対し、指示・承諾・協議・報告・助言を行っており、全ての検査に合格しています。外壁仕上材の白化現象については、工事完成検査時には確認されなかった。

問 外部の仕上に木材を使用する事は耐久性・耐候性に問題はないか。木材を使用した事が、白化現象の原因になっているのか。

耐久性・耐候性は確保

答 外壁木材仕上部分の断面構造は、バリウム鋼板張り、防水シート張り、木横胴縁打ち、杉板縦張り、
*浸透性保護塗装を複合的に組み合わせることで耐久性・耐候性は十分に確保されています。

問 木材に注入された薬剤が結晶となつて表面に出てくるが、子供達に悪影響はないとする根拠は。又、最終的に不燃性能が無くなることはないか。

国土交通省の認定

答 薬剤は、ホウ酸塩系で、木材の不燃化を実現したもので、国土交通省の安全性試験等の結果も公表され、各種の試験を実施し、問題のないことが確認されています。耐久性についても国土交通省

の認定を受けていることから、直ちに不燃性能が劣化するものではありません。

問 開園後、使用状況について使い勝手の悪い所や多少の改良を必要とする所の確認を使用者に聞く、というところを行っているか。

必要に応じ検討

答 保育士等からの不具合について指摘があれば、その改善を精査し、適切に対応してまいります。

※浸透性保護塗装：木材に塗料を染みこませ、保護をした塗装



吉田公園



レタスの収穫（吉田たんぼ）

わが町の農業ビジョンと政策は



大塚邦子議員

問

町長は、農業が産業として成り立つ要件として、『儲かる』『面白い』『やる気のある人』を挙げていますが、わが町の地理的条件を生かし、農業を町の産業と位置付けしていくためのビジョンと具体的な取組みは。

後継者の確保と農業従事者の支援

今後、農業従事者の高齢化、経済負担を伴う農機具の更新、担い手不足から農地の流動化が進展する可能性は大きなものになることが予想される。

答

米・レタスを中心とした産地の育成と農業経営振興会や農協、農業委員会、農林事務所と協力して、将来担い手となる後継者の確保や農業従事者の支援、優良農地である吉田たんぼの保全と環境を整えていくのが、わが町

の農業ビジョンであると考えている。

なお、「儲かる」「面白い」「やる気のある人」とは、農業経営振興会が掲げている目的をより具体的に述べたものであり、御理解いただきたい。

観光資源の発掘と活用は

問

わが町の観光資源を活用して、住民の知恵と工夫で観光客人口の増加を見込める事業展開ができるようになるが、今後の事業展開についての考えは。

観光協会団体の支援

答

当町の観光交流客数は、平成18年度15万4550人、平成19年度21万8381人、平成20年度19万9889人でした。今後、このような交

で支援していきたい。

流人口を観光に結びつけ、休日を利用した「楽しめる」「休息できる」観光につながるよう観光協会関係団体を支援し、各イベント、各施設の充実を進め、協会主催以外のイベントでも協力できる範囲

また、外部の人間をアドバイザーとして招くなどの活動、『食』に注目し、地元の食材を利用した特産品、観光協会の新規事業展開など民間と連携を取り、検討していきたい。

委員会活動報告

総務文教 常任委員会

◆9月29日 委員会

・中央小学校視察

①6年C組外国語活動担任とCIUジェーン先生とのチームティーチング(TT)授業。



中央小学校

問 外国語活動は、どの程度まで英語習得を目指しているのか。
答 中学校の英語教育の前倒しでない、文法でなく積極的なコミュニケーションに重点を置いています。

問 CIUなど外国語指導者以外の地域の人材の活用は。
答 外国語に堪能な地域の方々の協力をお願いし、活用策を検討したい。

◆10月1日 委員会

・自彊小学校視察

①5年1組外国語活動TTによる授業。

②外国語活動、ICTの活用について協議。
問 外国語活動に対する児童の反応は。
答 児童の日記に日々綴られていて、大変楽しみにしています。

問 TTの複数指導は。
答 TTの授業は、きめ細かい対応が出来ます。今後については、教育委員会等で検討していきます。

問 外国語活動時間の増加の影響は。
答 昨年から総合学習時間を使っており、変化はありません。

◆10月15日 委員会

・吉田中学校視察

①2年7組PC室にて、パワーポイントを使い、旅行企画書を作成するICT授業を参観。
②2年2組英語を参観。
③学校の取り組みについて協議。



吉田中学校

◆11月2日 委員会

①学校視察内容を協議。

②委員会視察を審議。

◆11月24日 委員会

①12月議案報告。

②委員会視察レポートについて協議。

③閉会中の調査案件を審議。

「教育振興に関する調査」と「健康と福祉に関する調査」とにする。

委員長 藤田和寿

産業建設 常任委員会

◆12月9日 委員会

○所管事務調査

・下水道事業再評価について。

国の補助金を交付されている下水道事業は10年ごとに事業再評価を実施することが義務付けられている。

前回から10年が経過し、「下水道事業再評価監視委員会」による審議が行なわれた。

事業再評価は下水道事業を進めることで得られる「生活環境の改善と川や海の水質汚濁防止効果を他の方法で実施したらどうか」という仮定で、浄化槽事業との費用比較をする。

これを費用効果分析(便益/費用)と云い、計算の比率が1・0を上回れば下水道の方が効果的である。

平成20年度決算値まで含めたその比率は

「1・236」で、下水道の方が効果的であるとの結果が出ている。

なお、将来のことを確実に予測するのは困難のことから、費用効果分析では上下それぞれに幅を持たせた計算を別途求め判断を下す参考としている。

①「下水道施設が標準的な耐用年数より長持ちする計算」

②「浄化槽等が標準的な耐用年数より長持ちする計算」

③「平成21年度を以て下水道の新規建設を中止し、残りの区域を浄化槽方式で整備した場合の計算」

各ケースとも下水道事業が効果的であるとの結果が出ている。この結果、下水道事業再評価監視委員会は費用効果分析結果を軸に事業進捗状況、社会経済情勢等による審議を行ない事業の継続が妥当であることを認める答申をした。

問 小山城まつりの成果について。

答 小山城まつりは、町政施行60周年記念事業の一環として行われ、例年と異なる集客体制等を取ったことにより、予想以上の成果を上げることができた。

・予算、駐車場、シャトルバス、PRの方法、観光協会との協力体制等今後の課題と思われることについて意見交換を行なった。

問 津波防災ステーションについて

答 津波防災ステーションは、昨年8月の地震発生時におけるシステム作動状況の映像解説と施設の見学を行った。

・システムの詳細、完成後の維持管理計画等について意見交換した。

委員長 杉村嘉久

視察レポート

由利本荘市

「学校教育について」

◆教育の将来像は、共生・躍動・自立の視点で、知・徳・体の調和の実践を目指す。

子ども像

- 心豊かな
- たくましく生きる
- 学び続ける

◆新学習指導要領への移行状況

• 小学校外国語活動は、ALT（外国語指導助手）や地域人材の効果的な活用



由利本荘市役所

- 中学英語教師OBによるサポーター支援
- 外国人とのふれ合い

交流
 • 小中学校の先生との交流
 ☆授業の楽しさ

由利小学校アンケート

	とても楽しい	まあまあ楽しい	あまり楽しくない
5年生	約88%	約10%	約2%
6年生	約84%	約5%	約1%

☆平成21年度全国学力・学習状況調査
 （由利本荘市の結果分析の概要報告書より）

○小中学校の正答率。
 国語・算数・数学とも全国平均を大幅に上回り秋田県の三年連続全国一位に貢献。

- ①国語の学習分析
 - 勉強が好き
 - 約67%（小学校）
 - 約65%（中学校）
- 授業内容がよく分る
- 約80%（小中学校）
- ②数学の学習分析
 - 「数学をもっと勉強し

たい・大切である・将来役立つ」約80%。
 「数学が好き」約50%
 「授業内容が良く分る」約65%

○規則正しい生活習慣や学習習慣が身に付いているが、ゲーム時間が多く家庭の手伝いが少ないなど課題がある。

- ①学習・生活習慣
 - 朝食を毎日食べる
 - 約97%（小6年生）
 - 約96%（中3年生）
- 自分に良いところがある
- 約70%（小6年生）
- 約60%（中3年生）
- 夢や目標を持つ
- 約80%（児童生徒）
- 普通日に2時間以上TVゲームを行う割合
- 25%以上（小学校）
- 20%弱（中学校）

○調査結果

本市の児童生徒は基礎的・基本的な力と規則正しい生活習慣が身につけていることが確認できた。思考力や判

断力等活用に関しては、指導の改善の在り方について研究を継続していく必要がある。

◆トライアングルプラン

子どもたちが本に親しみ、よりよく生きるための力を身につけ児童生徒の主体的な学習を充実するために、学校・図書館・教育研究所が連携し、子どもの読書活動を推進する。

◆「ホットヒット! 科学の心」推進事業

- 教科専門監(算数・理科教諭)や退職教職員等を配置し、豊かな教育活動を具体的に推進できるように、人材の活用を積極的に行っている。
- ①学校教育活動支援人材バンクとして活用
- ②退職教員と教員がチームティーチングで実際に授業を行う。また、教材研究や教具作成についても支援指導を行う。

☆退職教職員の授業づくり支援

平成20年度運用状況12回で10名の実績
 ③科学フェスティバルを教員や教員OBと児童・生徒・学生が行う。また、科学への興味関心を高揚し情報交換している。



フェアライト子ども科学館

◆学校支援地域本部事業

- ①地域住民が持っている自らの知識や経験を活用し、地域ぐるみで子育てを行い、地域の活性化につなげる。
- ②各学校の校長が、ボランティアのコーディネーターを選任し、地域のボランティアに要請する。

総務文教常任委員会

- 11月11日(水) 秋田県由利本荘市
◇学校教育について
- 11月12日(木) 秋田県にかほ市
◇出前講座・フェライト子ども科学館について
- 11月13日(金) 羽後町立西馬音内小学校
◇ファンイングリッシュ推進事業について

委員会

秋田県にかほ市

「出前講座」

○市民の要請に応じ、職員自らその担当分野について講師となって出向き、市の事業・施策や暮らしに役立つ情報について説明し、市政に関する理解と関心を深めるとともに、市民の学習の場とする。

- 出前講座の流れ
 - ①担当課との事前相談
 - ②申込み
 - ③講師派遣承諾
 - ④出前講座実施
 - ⑤報告書提出
- 講座メニュー

分野(福祉・生活・文化・産業・情報と交流・協働と自立)からテーマが39用意。(一部)

 - ①高齢者福祉について
 - ②ゴミの分別とリサイクルについて
 - ③市の宝物について
 - ④市民みんなが観光案

- 内人
- ⑤国際交流・姉妹都市交流について
- ⑥市のお財布事情について

「フェライト子ども科学館について」

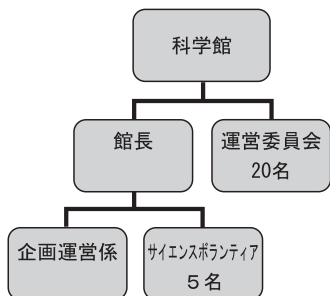
○運営方針
*フェライトを工業化した斎藤憲三氏の先見性と科学に対する情熱やチャレンジ精神を未来に受け継ぎ、次世を担う子ども達に科学に対する心を培い、科学と親しむ場、科学を知る場を提供し、創造性豊かな青少年を育成する。

○利用状況(H20年)

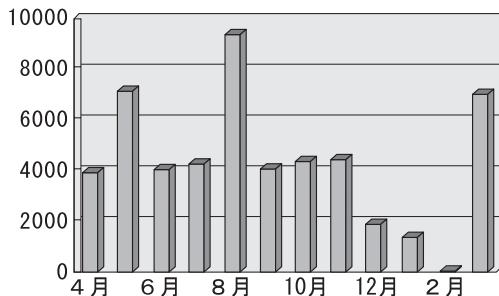
- 科学体験教室
延べ54回
参加者4665人
- 米村でんじろう
①サンエンスショー
参加者700人
- ②実験工作教室
年4回・507人

※フェライト…コバルトと鉄を合成した磁石

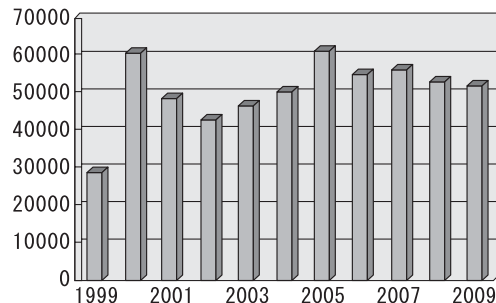
組織図



月別利用状況(人)



年度別利用者状況(人)



秋田県羽後町

町立西馬音内小学校
におけるファンイングリッシュ推進事業について

- ◆地域人材の活用
 - 英語塾のカナダ人に年2〜3回お願いし、生きた英語を話す。
 - 留学生などゲストティーチャーを招いて幅広い英語活動
- ◆TT授業について
ALT(外国語補助教員)を活用せず、外国語活動主任が5〜6年の学級担任とTT
- ◆外国語活動の授業参観(外国語活動主任と学級担任との授業)
- ◆羽後町独自の事業
- ☆国・県の少人数学習推進事業の教員の加配とは別途に人員配置。
- 日本語サポート事業
- 障害児支援の為に教諭補助事業



西馬音内小学校

☆放課後子ども教室推進事業。
○放課後の子ども居場所作りを行う。各学校に指導管理員を配置し、学校内空き教室で行う。長期休業中も開設する。
視察を終えて
教育の先進地である秋田県の三箇所、視察研修を行い、教育ビジョンの発信・調査分析の大切さ・地域人材の発掘・独自の工夫事例などを学びました。

また、科学館を見学し運営の難しさを改めて再認識致しました。学び得たことを、今後の議会活動へ活かしていきたいと思えます。

委員長 藤田和寿

報告会開かれる



北区 自彊会館

第一回 吉田町議会 報告会まとめ

- ▽参加者について
- 11月27日 川尻会館 19時開会 21名
- 11月28日 自彊館 19時開会 38名
- 11月29日 住吉会館 19時開会 24名
- 11月29日 片岡会館 19時開会 14名
- 参加数97名

各地区意見交換 抜粋

問 榛原病院はどうなるのですか。

答 現在、公設民営の指定管理制度へ向け、医療法人徳洲会と協議を進めています。

問 公共下水道へ支出が5億円あるがこのまま続けていいのですか。

答 下水道を始めてから20年経過し、総事業費は180億円となつています。10月に下水道事業再評価監視委員会が開かれ、事業を継続することに決まりました。

問 ちいさな理科館を作る必要があるのか。

答 今、理科離れになつています。将来を担う子供達を見越したものと考えています。

問 三星の問題で約12億円これらの経費はどのような形で支払われているのですか。

答 当初2年間は利息だけ支払い、その

の後毎年1億4千万円返済しております。

問 津波について。

答 防潮堤にある陸コウの開閉が手動式から自動に変更されました。今回の地震でも揺れを感じ自動的に閉じられました。

問 吉田高校と大井川高校の統合について。

答 県の所轄ですの

問 事業仕分けの実施は。

答 国・県において

問 議員報酬は報告書にあるが職員の給料は公開していないのですか。

答 職員の人件費は条例で決まっています。人件費の総額は予算・決算で議決して

しだ」に掲載しています。又人件費の総額は13億3500万円で歳出の15・6%です。

問 吉田町のビジョンがなさ過ぎる。

答 昨年、都市計画

問 健全化比率15・1%でなぜ健全財政といえるか。

答 公共下水道・榛原病院負担金・中山三星等への投資・返済に使われていますので、借金があるからといって不健全であるとはいえません。

問 湯日川周辺の散策路に草が生え、粗大ゴミがたくさん捨てられている。整備が実現しないか。

答 マスタープランのもと、計画通りの実現に向け働きかけ

各地区アンケート意見 抜粋

▽川尻区 川尻会館

- 細部説明が聞きたい、現状の町の問題は何か
- 住民意見を反映させるためにも、住民懇談会を開催し、住民が政治に関心を持てるように活動して下さい。
- とても勉強になった。手さぐり状態での開催と思われるが、是非今後も続けてほしい。
- 今、改善すべき重点課題は、議会、議員さん個々と住民の関係改善ではないでしょうか
- 風通しの良いまちづくりをお願い致します。
- もつと小さい単位で報告会を行うことも考慮されては。

- 議員定数削減よりも役場の職員の人件費を費用対効果の面から、民間ベースで算出したほうが、より合理的に予算付け替えが可能だと思います。

〔 内 容 〕

1. 議会の概要
2. 町政(財政)報告
3. 議会改革について
4. 意見交換

初の議会

▽北区 自彊館

- いろいろな意見が出ましたが、いい報告会だと思います。
- 町会議員数が多すぎです。なにもやらない議員、町民の役に立たない議員はいらない。
- 榛原総合病院の件、早く解決してほしい。
- 選挙は2回とも無投票となつていますが、議員定数の見直しはなされないのですか？
- 議会が身近に感じられるような事をどんどんやってもらいたい。
- 質問に対してしっかりと回答してほしい。説明・言い訳が多く回答になっていない。
- 議会は町民サイドの存在であるはずなのに、行政からの回答のような印象が強かった。でもスタートした事は、評価したい。
- 議員自らもつと報告して町民の理解を得るべきと思う。
- 町当局に対してと議会に対してと分けて、意見集約をすべきである。
- 議員の勉強不足が如実に表れている、議員の資質の問題である。

▽住吉区 住吉会館

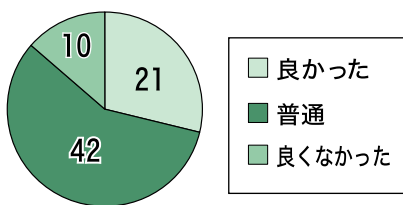
- 議員定数を10名にしたらどうか。
- 議員の報酬を、日当にしたらいかがですか。
- 正常な運営ができる榛原病院に早期にして下さい。
- いかに住民の意見・要望を聞くか。また、能力をつけて欲しい。
- 財政の問題、住民の利益を統合的に判断または説明できる能力をつけてほしい。
- 定例議会のたびに、報告会を開いて欲しい。
- 財政がこのようになっているので、今後このような展開で実施していくといったものがない。
- 報告会よりも意見交換に重点を、またテーマ毎に分かれて討議したら良いのでは。
- 参加者が少なく若い人の参加が殆ど無かった。参加人数を増やすように考えて欲しい。
- 改革することは大変ですが、動き出さなければ何も始まらないので頑張ってください。

▽片岡区 片岡会館

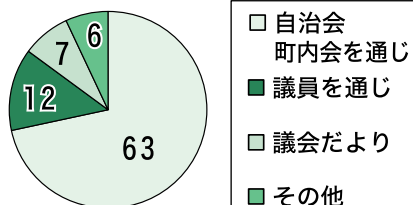
- 中山三星建材(株)工場跡地について現状を議会だより等で広報して欲しい。
- 平成13年度より県では耐震事業として「TOKAIIO」を進めているが、他市町と比べて意識が低いと思う。焼津・富士市の事例を反映しては。
- 箱物を造るのはいいが、ボランティアに多くを協力してもらおうことは、危険性があると思う。
- 危機管理が余りにも希薄に思う。
- オンデマンドの議会中継を御願したい。

他多数のご意見を頂きました。ありがとうございました。

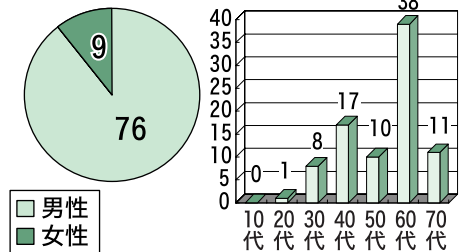
問 議会報告会内容は (人)



問 何で知ったか (人)

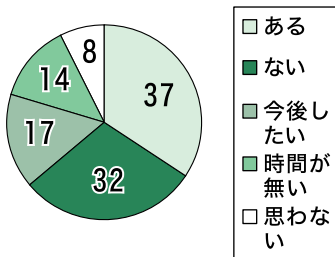


アンケート回答層 (人)

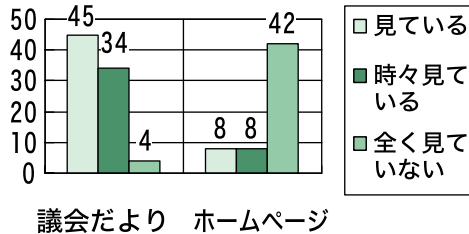


▽アンケート結果
回答85名

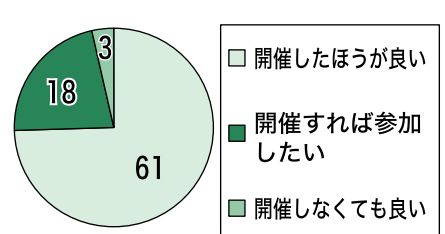
問 議会の傍聴は (人)



問 議会広報について (人)



問 これからも開催したほうが良い(人)



ま ち の 話 題

吉田町駅伝大会



一般男子のスタート

1月17日 吉田町町制施行60周年記念、第26回吉田町駅伝大会が開催されました。参加176チーム、参加者1116名と、記念大会にふさわしく、過去最多の参加者によって盛大に開催されました。今大会では、リタイヤしたチームや、繰り上げスタートしたチームはひとつも無く、全チームのつながった感動の大会でした。

消防団出初め式



第1分団による訓練礼式

1月10日 平成22年吉田町消防団出初め式が、中央小学校を会場として開催されました。本部役員をはじめ、第1分団(住吉)、第2分団(川尻)、第3分団(片岡)、第4分団(北区)が一同に会し、訓練礼式やポンプ車操法、小型ポンプ操法を披露し、来賓や一般見学者の注目を浴びました。この他優良団員や退職団員への表彰も行われました。

議会を傍聴してみませんか？

12月議会の傍聴者数は延べ40人でした。ぜひ、傍聴にお出かけ下さい。

次の3月定例会の日程案です。

3月2日(火)	本会議
3月9日(火)	委員会
3月10日(水)	委員会
3月12日(金)	全員協議会
3月16日(火)	一般質問
3月17日(水)	一般質問
3月23日(火)	本会議

希望者は議会事務局へ申し込んで下さい。
☎三三一二二四一



吉田町出身のプロ野球選手、高木康成投手の後援会による懇親会が1月3日に開かれました。今シーズンより、読売巨人軍の投手として皆さんの期待に応えるようがんばりますと、報告がありました。

あとがき

新しい年を迎えたが日本経済を取りまく環境は厳しい、一般物価水準が下がり続け、人口減少も止まらない。失業率は5%台にとどまり、企業の収益も伸び悩んでいる。一言でいえば日本経済はデフレの真つただ中にあるといわれる。一月七日には一年間の無病息災を願って七草粥を食されたと思います。芹、薺、御形、繁縷、仏の座、菘、清白の青菜の七種類、おせち料理やお屠蘇などで疲れた胃の負担を和らげる効果があるとされる、又大流行のインフルエンザの予防になればと願うばかりであります。(S・K)

議会広報特別委員会
委員長 枝村和秋
副委員長 杉村嘉久
委員 藤田和寿
永田智章
吉永満榮
河原崎昇司
八木 栄